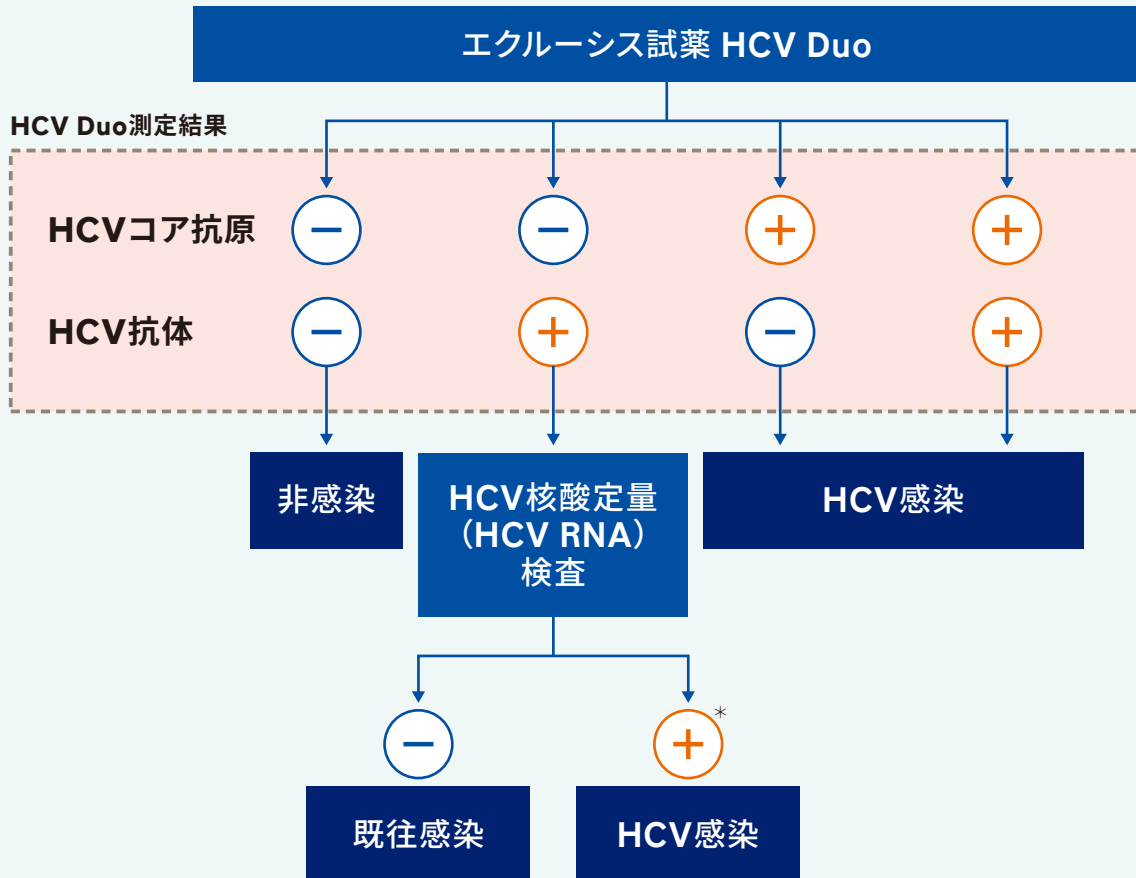


# HCV抗体・HCVコア蛋白同時検出定性検査によるスクリーニング検査の実施方法

図 HCV抗体・HCVコア蛋白同時検出定性検査によるスクリーニング検査の診断フロー

※HCVコア蛋白(以下、HCVコア抗原)

監修：竹原 徹郎 先生  
大阪大学大学院医学系研究科  
消化器内科学 教授



HCV抗体検査とHCVコア抗原検査を同時に実施する場合、上図のフローに従い適正な診断が求められます。

\*定量下限未満(検出)及び定量値(Log IU/mL)の結果はHCV RNA 陽性判定と解釈します。

## 診断のポイント

- HCVコア抗原、且つHCV抗体が陰性(⊖)であれば、HCV非感染と診断。
- HCV抗体の結果に関わらずHCVコア抗原が陽性(⊕)である場合、HCV感染と診断。
- HCVコア抗原が陰性でHCV抗体が陽性となった場合、HCVコア抗原の検出感度は十分ではないことから、HCV核酸定量(HCV RNA)検査を実施し、確定診断を行う。

重要なお知らせ

エクルーシス試薬 HCV Duo  
製造販売承認番号:30500EZ00038000

# C型肝炎の 治療すべきタイミングを逃さない。

検査の  
ステップを  
短縮できる

早期発見・  
早期治療に  
つながる

健やかな  
未来の可能性  
が広がる

検査を行う上で  
重要なお知らせがあります。  
裏面の「診断のポイント」を  
ご確認ください。

**抗原×抗体のWチェック\*で、  
確定診断までのスピードが加速する。**

\*抗原、抗体の結果がそれぞれわかります。

**HCV スクリーニング試薬**

**エクルーシス試薬 HCV Duo**